

「自殺予防講演会」開催 やさしさを行動で、心の輪

仙北市自殺予防講演会



11月10日、角館伝承館において「自殺予防講演会」が開催されました。講演前にお話しコンサートボランティアの柳生子さんが「マザーテレサ

愛のことば」を朗読し、倉持千恵子さんのピアノにあわせ、鈴木明美さんが「里の秋」を独唱して場を盛り上げました。藤里町の住職、袴田俊英先生が「こころの輪を地域に広げよう」のテーマで講演。「現代社会は、快適な生活を過ごす半面、苦しくても相談できず、人を孤立させ自殺へと追い込んでいく。人とのつながりが希薄な社会で、やさしさを行動に表すことで、心の輪となり社会が変わる。孤立化を防ぎ自殺防止につながる」との話しに約100人の聴衆が聞き入っていました。

全国縄綱（なわない）競技大会 巧みな手さばきを競う



平成縄綱（なわない）塾が主催する第2回全国縄綱競技大会が11月13日に花葉館で行われ、39人が自慢の手さばきを競いました。個人の部は20・40歳で渡部タキ子さん（八郎湯町）、団体の部は伊藤喜三郎さん、今野房子さん、斉藤二郎さん（秋田市）が28・07歳でいずれも昨年を超える記録で優勝。菅原塾長は「今回までの合計で7390人。1万歳でギネスに挑戦したい」と夢を語ってくれました。

秋の火災予防訓練 「岩橋家」で実施

11月7日、秋の火災予防運動の一環として防災訓練が角館伝建群保存地区で行われました。この訓練は、角館消防署と市教育委員会が共催、仙北市消防団、角館北部地域自主防災会、角館伝建群保存地区の町並みを守る会の協力のもと、約50人が参加し、様々な火災を想定した訓練を行いました。



秋の火災予防運動 「駆け付け訓練」 「住宅用火災警報器消防団研修会」

秋の火災予防運動（11月7日～13日）初日に毎年恒例の「駆け付け訓練」を市内4カ所で行いました。訓練終了後には、角館交流センターで、地域の防火防災のリーダーでもある消防団員を対象に「住宅用火災警報器消防団指導員研修会」を行い、平成23年6月1日から設置が義務化される住宅用火災警報

器について研修しました。これから本格的な冬を迎え、火災の発生しやすい季節となりますが、市民の皆さんにはよりいっそうの火災予防にご協力をお願いします。





秋田内陸線沿線地域 地域が元気になるためのフォーラム開催

11月13日、北秋田市の阿仁山村開発センターで、秋田内陸線沿線を元気にするフォーラムが開催されました。

これは、内陸線沿線地域の活性化をめざし、6月に仙北市、北秋田市の沿線市民が中心になって結成した「秋田内陸線沿線地域エコミュージアム会議」（三浦陽一代表）が、10月にNPO法人の認証を受けたことを記念して開催した

もので、約90人が参加しました。

当日は、作家の石川好さんが、「地域が元気になるために」と題した講演を行い、内陸線沿線に民俗芸能を講演する拠点づくりなどの提案がありました。

また、参加者が5つのグループに分かれ、地域の宝を生かした観光振興について意見交換しました。

花葉館植樹事業

ベニヤマザクラ植樹

11月3日、花葉館が社団法人秋田県緑化推進委員会の市民グループ森づくり支援事業の助成を受け行っている植樹事業が行われました。

旧角館スキー場跡地に集まった参加者は、ベニヤマザクラの苗を手渡され、説明を受けた後、一生懸命に作業を行っていました。



東京かくのだて会総会開催 和やかに親睦深める

11月6日、25回東京かくのだて会の総会と懇親会が、東京の中野サンプラザを会場に開催されました。

首都圏から会員約100人が参加した総会では、熊谷教育長から市の近況報告があり、ふるさとへの協力と支援をお願いしました。

懇親会では恒例の飾山囃子が披露され、ふるさとを思い出し、盛り上がりしました。

西明寺中学校 にき園に歩行器の寄贈



西明寺中学校では、「空きビン・空き缶・古紙回収」事業を地域の皆様の協力を得ながら行っています。その収益金で、今年は歩行器を寄贈して頂きました。有難うございました。



危険業務従事者叙勲

仙北市から二人が受章

「第15回危険業務従事者叙勲」の表彰者が10月9日発表され、仙北市から2名の方が受章されました。
自衛隊へ入隊後、東北各地で勤務、尽力された防衛功労により、坂本均さんが瑞宝双光章を受章。
消防活動に携わり、地域の安全を守ってきた消防功労により、難波和夫さんが瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝双光章



防衛功労
坂本 均さん(61歳)
角館町勝榮
元1等陸尉

瑞宝単光章



消防功労
難波和夫さん(71歳)
田沢湖生保内
元大曲仙北広域市町村圏
組合消防指令長

秋田県種苗交換会 秋田県知事賞・最優秀賞

第2部畑作物及び工芸作物部門で草薙福雄さん(田沢湖神代)の株大豆。第4部野菜部門で佐藤功さん(西木町上松木内)のホウレンソウが秋田県知事賞。第29回秋田県産米品評会で西宮奈々子さん(西木町門屋)の「ゆめおぼこ」が最優秀賞に輝きました。



全県花だんコンクール 花いっぱい運動功労賞受賞

第46回全県花だんコンクールで、西木町下川原集落花の会(代表阿部繁さん)が、花いっぱい運動功労賞を受賞。

下川原集落花の会は、2年連続で特別優秀賞を受賞し『モデル花だん』としても認定。長年にわたる花いっばい運動推進の功績が評価され今回の授賞となりました。



内陸線を活用した ふるさと学習

内陸線及び沿線の地域資源を活用した校外学習活動が行われています。角館中学校、生保内中学校の活動例を紹介します。

角館中学校

10月26日、2年生が、北秋田市米内沢の浜辺の歌音楽館、北秋の杜公園を見学。初めて乗車する生徒もいて観光ローカル線の魅力と、生活路線の役割を学んだほか、地域文化に触れる機会にもなりました。



内陸線を利用して思ったことは、とても良いコミュニケーションの場だということ。明るい雰囲気になって交流を深められるので、守っていききたいなと思いました。(石川舞さん)
車窓から見える紅葉など、米内沢への2時間はとても充実できました。米内沢に着いてからいろいろな体験ができました。ありがとうございます。(青柳智有さん)

県内の人にもっと乗って欲しいです。そこには、素晴らしい自然と地域の人との出会いがありました。地域に根付いてきた内陸線は、人々の思いを乗せて走っているのではないのでしょうか。(鎌田日花理さん)

生保内中学校

9月1日 生徒41人が、北秋田市阿仁の内陸線車両基地で鉄道業務体験と清掃奉仕活動を行いました。普段は見ることができない鉄道の仕組みや仕事を興味深く学んだほか、利用客に快適に乗車してもらおうと車両清掃にも汗を流しました。

